

団体名：苫小牧廃棄物協同組合
回答日：令和7年10月30日

要望書（回答）

1. 委託金額の増額について

- ・燃料高騰等の物価及び労務賃金の上昇に見合った適正価格へのご検討とともに、収集運搬事業の安定的かつ継続的な運営が可能となるようご配慮をお願い申し上げます。

【回答】（環境衛生部ゼロごみ推進課 担当）

家庭ごみ収集運搬業務は、全国的に統一の基準等ではなく、各市町村がそれぞれの方法で積算しております。

本市では、国の公共工事設計労務単価等を参考に積算しており、労務賃金の上昇等にも対応してきたところであり、引き続き適正な積算を行ってまいります。

2. 参考価格の考え方について

- ・開かれた事業運営を可能とするため、参考価格に係る内容をお示しいただけるようお願い申し上げます。

【回答】（環境衛生部ゼロごみ推進課 担当）

市の予定価格の積算に関する事項につきましては、例年、一般廃棄物収集運搬委託業務仕様書においてお示ししております。

仕様書の内容についてのご質問等については、お問い合わせいただければ、お応えできる範囲内で対応いたします。

3. 市民への分別・排出方法の周知強化について

- ・ごみの有料化・分別回収当時からは改善されておりますが、一方、未だに不適正排出（指定袋不使用や市収集対象外の廃棄物など）が増加しており、市民意識の低下とごみの多様化・有害化について懸念しております。

市民全体を対象とした分別・排出方法の周知強化について、再度ご尽力賜りますようお願い申し上げます。

【回答】（環境衛生部ゼロごみ推進課 担当）

分別・排出方法の周知強化につきましては、共同住宅が多い地区や常習的にマナーが悪いごみステーションなど、これまでも貴組合に立ち会っていただき、不適正排出の開封作業などを行ってきたところです。開封作業の結果、排出者を特定できる場合については、直接訪問による指導や警察と相談しての対応も実施しております。

また、市内の共同住宅管理会社等を会員とする、共同住宅ごみ排出マナー改善対策協議会も定期的に開催しており、昨年は市が外国人市民向けに作成している多言語対

応の「みんなの生活ガイドブック」を紹介してご好評いただきなど、ごみの排出マナー向上につなげる取組を行っております。

有害ごみの対応では、リチウムイオン電池などの排出方法につきまして、SNS やイベントを通じ、発火したバッテリーの実物展示をするなど、市民周知・啓発を行ってきたところでです。

市としましては、引き続き様々な工夫をしながら、更なる分別指導や市民周知を行ってまいります。

4. 戸別収集の全市拡大に関する情報提供について

・戸別収集の全市拡大に伴い、業務形態に大きな変更が生じると懸念しております、円滑な業務を可能とするためにも、実施の一年前には概略をご提示いただき、協議の機会を設けていただきますよう強く要望いたします。

【回答】（環境衛生部ゼロごみ推進課 担当）

戸別収集については、開始当時と比較し、労務単価の大幅な上昇や人手不足が深刻さを増す著しい情勢の変化を受け、全市拡大実現への見通しが立たない状況にあり、一度立ち止まることとしました。

現在はアンケート等を通じてあらためて市民ニーズの把握に努めているところであります、その結果を踏まえて、今後の在り方を検討してまいりたいと考えております。

5. 災害及び各災害に係る警報等への対応について

・先の「津波警報」時には、収集車の一時避難場所の確保、帰社が困難な状況が発生したことから、今後とも安全・安心な作業が可能となるようご配慮賜りますようお願い申し上げます。

【回答】（環境衛生部ゼロごみ推進課 担当）

この度の、カムチャッカ半島付近の地震に伴う津波警報時には、大勢の市民が一齊に高台へ避難したことなどにより道路渋滞が発生し、収集車が高台へと避難することは難しい状況だったと認識しております。

市としましては、貴組合の各事業者におけるごみ収集ルート周辺の一時避難場所の検討をはじめ、ごみの収集作業中における災害発生時の様々な課題について、貴組合との協議の場を設けるなど、意見交換や認識の共有を図ってまいりたいと考えております。